**タフネスシート**

私は学生時代、持ち前の粘り強さを活かし、留学生を対象とする塾講師のアルバイトに力を入れました。私が担当するクラスでは志望校への合格率が低迷しており、生徒の授業参加度が低いことが課題となっていました。そこで私は、「教える側」の思考から「教わる側」の思考に切り替え、生徒と信頼関係を築いた上で、「参加したい」と思ってもらえる授業を作る必要があると考え、具体的な施策を打ち出しました。まず、生徒との信頼関係を構築するために、他の講師に共有してもらった事前カウンセリングの情報に基づき、１人１人の学生と個人面談を行い、お互いの紹介や最近の悩み事を話しました。そして、先輩講師に授業の際に気をつけていた点や、生徒を惹きつける授業の秘訣などをヒヤリングし、積極的に実践し、コンテンツの見直しを行いました。半年間改善し続けた結果、生徒の授業参加度が向上し、今までの合格率を大幅に上回る好結果を得ることができました。

上記の塾講師の経験を通じて、目の前の一人一人の気持ちに寄り添い、課題解決に伴走することの喜びを知ることができました。この経験に加え、大学院で抗がん剤開発の研究活動に打ち込んだ経験を活かし、患者さん一人ひとりの思いに寄り添いながら、一日でも早く患者さんに新薬を届けられるように、貴社で新薬の開発に取り組んでいきたいと考えています。大学院で学んだ知識と、留学経験から培われたコミュニケーション能力を活用し、多くの専門家を持つ貴社において、多角的な視点から問題の解決方法を考える思考を学び、新薬開発を加速化することに貢献したいと考えています。